（別紙３）

# 公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | ラシク淵野辺 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年　1月　5日 | ～ | 2026年　1月　31日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 12 | （回答者数） | 7 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年　1月　5日 | ～ | 2026年　1月　25日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 10 | （回答者数） | 10 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年　1月　31日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | ・昨年のアンケート結果の改善として、保護者会の導入を行った。 | ・定期的な保護者会や親子参加型イベントの実施 | ・様々な保護者が参加できるようにするための工夫や、保護者会の内容（療育園とのコラボやキーステーションとのコラボなど）を充実させて、より有益な時間が過ごせるようにしていきたい。<br>・保護者会で上がった声で取り組めそうなことは取り組んで、参加した甲斐があった、参加して良かったと思ってもらえるように新しいことにも挑戦していきたい（ヘアカットサービスの導入など） |
| 2 | ・楽しさが伝わるような笑顔の写真を多用した十分な情報発信 | ・日々の連絡帳だけでなく、ブログや淵野辺通信（淵野辺に通う保護者向けの通信）、保護者会通信など様々な形での情報発信の実施 | ・第3者が見れるブログ内容をより魅力的にすることで、新規利用につなげたり、ラシクに興味を持てる人が増えるようにしていきたい。 |
| 3 | ・昨年1年を通して地域行事や地域住民との関わり合い強化を行った。<br>・申し送り内容や連絡帳の内容の工夫 | ・拠点長の友人を招いた教室での音楽会実施、地域の餅つき大会への参加、自治会に加入するなど地域に開かれた教室運営を実施<br>・地域住民やお子さんと関わりを持てた時は具体的にお伝えして保護者に伝わる用工夫した。 | ・今後も引き続き地域行事に参加したり、地域住民との関わり合いを大事にすることで、ラシク淵野辺の存在感を高め、緊急時の際に「サポートが必要な子どもたちがいる」ということを伝えられるようにしていきたい。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | ・動ける医ケア児が多く部屋の大きさが不十分 | ・部屋の大きさが不十分 | ・外出やヨガマットの敷く位置を工夫することで動線を確保したり、部屋を広く活用できる工夫をしているが、必要に応じて移転も検討していく必要あり。 |
| 2 | ・表の玄関口が階段であり、車いすの出入り口は裏口から行っているが、狭い。<br>・出入口の広さが不十分なため、児童の体が大きくなったり、車いすのサイズアップがあると危険度が増す。 | ・建物のバリアフリー化が不十分 | ・玄関口のバリアフリー化の相談<br>・必要に応じて移転検討 |
| 3 | ・卒業後の障害福祉サービス事業所への移行支援を行ったことがない。<br>・児童発達支援センターとの連携が不十分であり、スーパーバイズや助言などを受ける機会がまだ持てていない。 | ・児童発達支援センターとの連携、関係性の不足<br>・通所する児童の移行支援をした経験がない | ・市の療育園のスタッフが派遣で研修や会議に参加していただく機会を作っていただけるという話しを頂いているので、その機会を活用して関係機関との協力関係を深めていきたい。<br>・卒業後の移行支援について事業全体で必要に応じて対策検討を考える |

（別紙４）

# 公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | ラシク淵野辺 |
|---|---|

公表日 2026年3月10日

利用児童数 12　　回収数 7

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| 適切な支援の提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。 | 7 | | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 7 | | | | この活動は●●を目当てに行っている、●●を参照にしているなどの情報がもう少し伝えてもらえるとうれしいです。 | 連絡帳にご意見を踏まえた内容を記載をするようにしてお伝えしていきます。 |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 2 | 2 | | 3 | 公園等で一緒にボールで遊んでくれた地域のお子さんがいたと聞いています。お出掛けがそういった機会を増やしてくれるのでありがたいです。 | |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 6 | 1 | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 7 | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 7 | | | | 保護者会とてもいいです。 | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 6 | | | 1 | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 6 | | | 1 | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 6 | | | 1 | | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 7 | | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 6 | | | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 5 | | | 2 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 5 | | | 2 | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。 | 6 | | | 1 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 5 | | | 2 | | |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 6 | | | 1 | | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 6 | | | 1 | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 6 | | | 1 | お出掛けをたくさんしていただきありがとうございます。たくさん子どもに愛情を注いでいただき感謝です。 | |

（別紙５）

# 公表　事業所における自己評価結果

| 事業所名 | ラシク淵野辺 |
|---|---|

公表日 2026年3月10日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | 5 | 外出やヨガマットの敷く位置を工夫している。 | ・動ける医ケア児が多く、狭く感じるときがある。<br>・全員そろうと個々の活動に合わせたスペースは確保できていないと感じる。<br>・スペースがもう少し広くてもいいと思う。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 10 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 3 | 7 | | ・重心の通所だが、入口は階段でドアである。車いすの出入口は裏口から行っているが狭い。<br>・出入口（車いす）が裏口なので、狭くて体が大きくなると危ないかな…。<br>・出入口がバリアフリー化されていない<br>・入口のバリアフリーがまだ整っていない。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 8 | 2 | | ・部屋が暗い。部屋の向きが悪く、西日しか入らない。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | 6 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 9 | 1 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 10 | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 10 | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 8 | 2 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 10 | | | |
| 適切な支 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 10 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 10 | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 9 | 1 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。 | 9 | 1 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 10 | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 10 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 10 | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 援の提供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 10 | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 9 | 1 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 10 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。 | 10 | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 10 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 10 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。 | 10 | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 10 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 10 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 10 | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 10 | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 9 | 1 | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 6 | 4 | | 淵野辺では中学以降の利用者がおらず、障害福祉サービス事業所への移行支援をしたことがない。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。 | 4 | 6 | | 今はまだスーパーバイズや助言をもらえるほどの関係性ができていないが、市の療育園のスタッフが派遣で研修や会議に参加していただく機会を作っていただけるという話しがあるため、そういった機会を積極的に取り入れ関係機関との協力関係を深めていきたい。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 5 | 5 | 散歩や他放デイとの交流時に少し持てている。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 4 | 6 | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 10 | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 10 | | | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 8 | 2 | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 10 | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。 | 9 | 1 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 10 | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 10 | | 昨年より保護者会の機会を設けるようにして、事前に困りごとの共有をしていただき保護者同士の意見を交流する機会としている。また、親子イベントも年に2回ほど作成して親子で楽しめる機会を作っている。 | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 10 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 10 | | 日々の連絡帳だけでなく、ブログや淵野辺通信（淵野辺に通う保護者間だけの通信）、保護者会通信など様々な形で情報発信をしている。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 10 | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 10 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 7 | 3 | 拠点長の友人を招いて教室で音楽会を行ったり、地域の餅つき大会に参加、自治会に加入する等を行い地域に開かれた事業運営を行っている。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 9 | 1 | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 10 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 10 | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 9 | 1 | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 10 | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。 | 10 | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 10 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 10 | | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 10 | | | |